

減災ニュース

和田三丁目東町会

区役所防災課のお話し

減災プロジェクトチーム 情報VI

今年度1本のスタンドパイプが当町会に配備されましたが、火災発生時には近くにスタンドパイプがないと初期消火は実現できません。区では今後の増配備計画があるのかどうか気になる場所ですので、杉並区役所防災課にいてお話しを伺ってきました。

防災課のお話し（要約）

H23年に水道点検口を消火栓として使用する許可があり、スタンドパイプを配備し、地域住民による初期消火に活用してもらうことを計画した。今後の増設も地区要請に応じ対応の予定。スタンドパイプ使用訓練は区からの提案でなく、地区町会からの要請により順次実施してゆく。区全体に浸透させたいが、まずはやる気のあるところ優先。今はスタンドパイプを理解してもらう段階である。消火訓練への協力はおしまない。また、地区により防災意識はかなり温度差があり、意識の高いところから設備増強はすすむと思われる。

街頭消火器設置不足場所については、町会等から要望してもらえば対応する。**大型消火器**の鍵については、いたずらの問題あり、悩ましいところだ。緊急時の問題は充分意識しているが杉並区で消火器のいたずらが3ヶ月に1度程度発生している。地域住民意向も尊重し、柔軟に対応してゆきたい。小型消火器はごく初期の消火にのみ対応するものだが、消火について複数の手段（消火器、スタンドパイプ、D級ポンプ）を持つことは無駄ではないと考える。しかしながら、地域住民の消火能力の限界も認識している。人間の背丈より炎が大きくなったら、消火をあきらめ、逃げることを考えて欲しい。（要約終り）

防災マップ

スタンドパイプ活用のため、消火栓位置を表示した防災マップを作りたい旨お願いしましたが、予算の関係上難しいとのことでした。しかしながら、区でも今後のスタンドパイプ増配備を積極的に考えていただいていることを確認できただけでも収穫でした。

区役所のあと消防署にもいって話を聞きましたが、こちらも防災訓練には全面的に協力していただけるとのことでした。

なお、防災マップ（消火器、消火栓表示）は当町会にて作成、配布の予定です。



スタンドパイプ



大型消火器



D級ポンプ

以上